

# きずな通信

きずな通信は、ささえ愛のある地域を実現するため協議体が発行する地域密着型の広報紙です。

～これからの地域のあり方を考える～

## 【生活支援体制整備事業】

皆さんは、2025年問題をご存知ですか？

2025年に団塊の世代が後期高齢者となり、介護・医療費などの社会保障費の急増が懸念されている問題のことです。

今後、私たちが安心して暮らしていくためには、

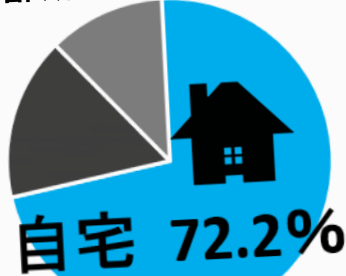
**「ささえ愛(支え合い)のある地域づくり」**や**「健康寿命を延ばすこと」**が必要です。

そのために、各自治体で生活支援体制の充実・強化を行う仕組みが生まれました。

大泉町社会福祉協議会でも、平成31年度より町からの委託を受け、

**「生活支援コーディネーター」**を中心に、有志が**「協議体(話し合う場)」**を組織し、地域の**「ささえ愛」**推進のための話し合いが始まっています。

### 「高齢期に生活したい場所」



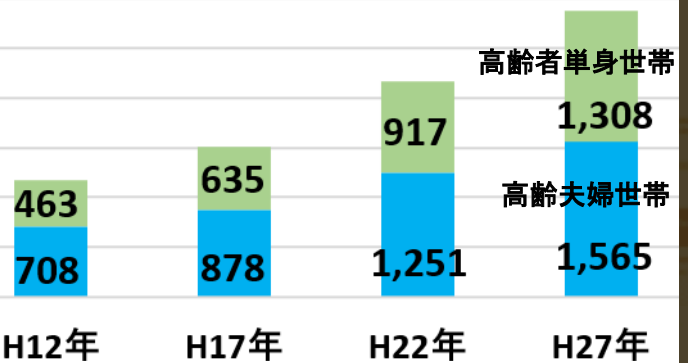
「三菱UFJリサーチ&コンサルティングH27年度  
少子高齢社会等調査検討事業報告書」より

↑ 高齢になっても自宅で過ごしたいという人は7割以上です。  
多くの人が住み慣れた自宅で安心して暮らしたいという思いを持っています。

高齢になっても自宅で安心して過ごすためには、健康寿命を延ばすことが必要です。将来のことを考え、体操教室等に積極的に参加する人が増えています。



### 「大泉町高齢者世帯数の推移」



第8期大泉町高齢者保健福祉計画  
「大泉町老人福祉計画及び介護保険事業計画」より

↑ 大泉町も高齢者世帯数は右肩上がりに増加しています。  
私たちのこれからに大きくかかわる2025年問題に1人1人が向き合うことが求められています。

絆を育む「ささえ愛」推進のための話し合いの場



# 協議体



大泉町の協議体は、歳を重ねても安心して暮らせる地域の実現に向け、有志で集まったメンバーで構成されていて、「第1層」「第2層」協議体が存在します。また、ささえ愛の推進役として「生活支援コーディネーター」が活動しています。

- ・第1層協議体…町全体のことを話し合う場
- ・第2層協議体…北・南・西の3つの中学校区に分かれて、より地域に根付いた話し合いや調査・研究を行う場



協議体メンバーと生活支援コーディネーター

ささえ愛の地域づくりを目指し、  
多様なメンバーで活動しています。  
2025年問題を考え、一緒に  
活動してくれる方、大歓迎です。

今後は北中地区、南中地区、西中地区の協議体で、それぞれが「きずな通信」を発行し、より地域に根付いた情報をお届けする予定です。是非ともご意見・ご感想をお待ちしています。

協議体の活動を一部紹介

地域資源の調査・研究



地域の居場所の見学



邑楽町との合同研修会

## お問い合わせ

事務局:大泉町社会福祉協議会

〒370-0523 大泉町吉田2465

電話 0276-63-2294

生活支援コーディネーター

渡来(わたらい)・望月(もちづき)

✉ [sc@oizumishakyo.or.jp](mailto:sc@oizumishakyo.or.jp)

※本紙掲載に使用した写真は新型コロナウイルス感染拡大前に撮影されたものも含まれています